



下田中学校 研究だより No.2

2020. 6. 30 文責 石崎 千波

研究主題：主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり
～表現力の育成を中心として～

年度当初予定していた授業総見を実施できるようになりました。改善プランの日程と調整しながらの実施で、短期間に2教科実施するなど振り返りが慌ただしくなっています。しかし、生徒たちの様子から自分たちの授業づくりのヒントをたくさんもらっていると思います。振り返りで共有した課題を今後の授業改善につなげていきましょう。今回は、Bチームの全校総見を振り返ります。

全校総見の振り返り 6月23日（火）社会科（3年生） 大野先生

◇本時の目標「憲法とは何か」を考え、説明しよう。

	○良かった点	△改善点・課題
①主体的に参加できるようなめあての工夫があったか	・ICTの効果的な活用ができていた ・予習をさせることで基礎基本の定着につながっている。 ・「憲法がなかったら」という発問が理解につながっていた。	→ 写真や絵を提示した後の思考や深まりがあると、もっと効果的
②思考を深めさせる課題や活動の工夫があったか。	・まとめを生徒に書かせていた。 ・板書がまとまっている。 →授業の流れがわかる	・教師を介さない生徒同士の交流があると、思考の深まりがあるのでは。 ・個人思考からグループで意見交換し、まとめる時間があると深い学びつながり、表現力を育成する場面の設定にもなる。

◎憲法について知り、どのようなものを説明するという内容でした。大変難しい内容ですが予習している部分については反応が良かったです。基礎基本の定着につながっているのではないのでしょうか。大野先生の板書はとても丁寧で、授業の足跡が分かるものでした。

今回の授業で、今後全体で取り組みたいことは以下の2点です。

①生徒が主体的に授業にできる = 「生徒にいかに疑問をもたせるか」
*発問であったり、学習課題、提示する資料などの工夫

②表現力の育成 = プレゼンの仕方を指導する
伝え方をパターン化して指導する
意識的に文量を決めて書かせる

*次回は、Aチームの総見（本日 3時間目-1年生 国語）があります。振り返りは、7月2日（木）のチーム会で行いますので参観シートの記入をお願いします。

また、昨日（29日）の校内研では、1年生の参観授業後宮上指導主事より、生徒支援の助言をいただきました。全体協議では様々な意見が出され、先生方が生徒たちの課題に真剣に向き合っていることを痛感しました。家庭との連携を深めるとともに、生徒たちの進路保障に取り組んで行きましょう。（具体的取り組み——学力保障：ドリル学習、視覚支援）

基礎・基本の定着を図る取り組みを継続して行いながら、特に**表現力の育成**を重点的に取り組む。③の振り返りの工夫では、学習したことを自分の言葉でまとめたり、整理したりするなど、ノート指導の工夫をする。

- ①下田の学びのスタイルの充実
- ②効果的な単元目標の工夫
- ③（単元）目標に応じた振り返り方法の工夫

2. 活動内容

- ・チーム総見—— 日時を決めて各学期に各自1回実施、指導略案
(チーム会の時間が望ましい。5教科は改善プランを兼ねることも可)

チームA	和泉（音） 6/4(6)	石崎（英） 7/6(3)	
チームB	中山（道） 6/2(4)	片岡（数） 6/23(3)	西澤（理）

- ・全校総見 —— 各学期に両チームより1人ずつ

	1学期	2学期	3学期
チームA	宮本(国) 6/30	石崎(英)	西澤 (理)
チームB	大野 (社) 6/23 (5)	濱口(数)	

☆チーム会の場所
チームA：相談室
チームB：会議室1F

3. 参観授業に必要な資料やアンケート

- ・授業評価アンケート（参観者用）
- ・授業評価アンケート（生徒用）
- ・参観シート

出勤簿のある3段の棚に、印刷して置いています。生徒用アンケートは、学期始めと学期末の2回実施してください。

*学期末には、先生方が実践したことを実践ミニレポート（作成）を活用し、振り返りをします。チーム会、校内研では生徒の実態を把握し、授業改善を進めていきましょう。

授業改善の成果が見える＝全教員のベクトルを合わせる！（愛宕中教諭コメント）

*5月20日（水）校内研では、来年度から施行される新学習指導要領への移行に伴い、「新しい学習評価」について研修を深めました。各教科における観点別学習状況の評価の3つの観点については、全教科で共通理解を深める必要があります。今後も協議を重ねていきましょう！